



個人参加 動く市政教室

「五感で感じる福祉現場（北区編）」



実施日 令和元年6月28日（金）

障がい福祉課 就労支援係・市民生活部 広聴相談課

様々な障がい福祉サービス事業所を見学し、障がいの程度に合わせた活動内容を知ってもらうことで、障がい者理解を深めます。

時間	分	見学施設	所在地
9:00		① 市役所分館 出発	
9:20		② 新潟駅南口 出発	
9:50~10:30	40	ドリームプラス（生活介護）	北区早通
10:35~11:15	40	デイアクティビティセンターはろはろ （就労継続支援B型）	北区早通北
11:25~13:05	100	就労センタードリームネクスト （就労継続支援A型）見学 昼食：希望者にはラーメンをご用意しています	北区木崎
13:20~14:00	40	障がい者就労支援センタードリーム （就労移行支援）	北区松潟
14:10~14:50	40	ドリームカレッジ（生活訓練）	北区石動
15:20		解散：新潟駅南口→ 市役所の順	

	応募数	参加数
6月28日	18	15

参加者からの主な意見・感想

全体を通しての意見・感想

- ・一日でいろいろな事業所を見学できて良かった。どの施設も説明が丁寧でじっくり見学できた。
- ・添乗した障がい担当の職員の説明が分かりやすく、丁寧でとても良かった。
- ・就労に向けての一連の支援の理解が深まった。
- ・個人では見学できない施設で、書物では得られないことが実感でき、とても有意義だった。
- ・どの事業所も歓迎してくれて好感が持てた。スタッフの方の苦勞を感じた。

各施設の意見・感想

【ドリームプラス】

- ・現場で説明を聞いたので理解できた。担当者の説明が分かりやすかった。
- ・生活介護の現場を理解できた。職員は大変だが一生懸命で良かった。
- ・障がい者支援も選択肢が広まったと思った。
- ・作業内容・環境が構造化されていて参考になった。
- ・グループホーム（ショートステイ）の情報も聞いて大変参考になった。
- ・スタッフの根気強い指導で皆を引っ張ってきたのだと思った。努力と根気に敬服した。

【デアクティビティセンターはろはろ】

- ・場所も好立地で落ち着いて通所できると思った。皆さんが真面目に仕事をしていた。
- ・支援相談員が上手にリードしていると思った。
- ・障害の程度に合った施設で、働く意欲を引き出す工夫を教えてもらった。
- ・自分も何かの形で応援したいと思った。

【就労センタードリームネクスト】

- ・ラーメンがおいしかった。今度、家族と一緒に行きたい。
- ・障がい者が自立し経済力をつけるには専門家の支援が大切だと実感した。
- ・ラーメンのこだわり（器・小松菜・チャーシュー）店員のサービスなど細かいところにも気配りを感じた。
- ・担当者の大変さと熱い気持ちが伝わってくる場所だった。

【障がい者就労支援センタードリーム】

- ・就労支援の過程が分かった。洗濯たたみをしていた方の表情が良かった。
- ・担当者の説明が分かりやすかった。個人的な質問にも答えてもらいありがたかった。
- ・就労するには生活が整っていないといけない。就労支援といえども生活支援も行わざるを得ないという話が印象的だった。

【ドリームカレッジ】

- ・それぞれのニーズに合った施設なのだと感心し興味を抱いた。
- ・よい施設だと思った。
- ・今の時代に合ったものを取り入れ先進的だと思った。担当者の説明が良かった。
- ・生活ができるような支援の方法が分かった。

※いただいたご意見等は、広聴相談課でまとめて各見学施設や関係課・者へ伝えます。